



矢口わがまち再発見!

近くに多摩川が流れるのどかな矢口地域には数多くの史跡が残っており、今も昔と変わらず住民たちの心のよりどころ、憩いの場として大切に守られています。

矢口の史跡めぐりに出かけませんか。



矢口の渡し跡

多摩川大橋そば

新田義興が悲壮な死をとげた地として有名。多摩川の流れば時代によって変化しており、中世の頃の渡し場は、現在の新田神社の迎いで、その後、今の位置に移動したと推定される。多摩川大橋の完成とともに姿を消した大田区内最後の渡し船。

1 天祖神社

下丸子3-10-8

その名の通り天照大神が祭神。境内には2本の銀杏の大木があり、そのうちの1本は東京都の保存樹となっている。夏には地区の盆踊り会場として町の人々が集う。

2 蓮光院

下丸子3-19-7

玉川八十八カ所霊場第五十九番札所の真言宗智山派の寺院。江戸時代後期の大名の武家屋敷門が、山門として移築された。第二次世界大戦の戦禍を免れ現存しており、東京都指定有形文化財。

3 六所神社

下丸子4-16-5

荏原左衛門義宗がこの地に六柱の神を祀ったのが始まりと伝えられている。江戸期には下丸子村の鎮守として栄えた。3年に一度の本祭では3町会7基の神輿が町内を練り歩き、境内の神楽殿では演芸大会が開かれ、鎮守の杜の賑わいが再現される。

4 諏訪神社

下丸子4-14-5

地元では「三角神社」お諏訪さま」といわれ親しまれ、緑も多く、街の憩いの場。現在は、諏訪児童遊園となっており、夏のラジオ体操や盆踊りなどが境内で行われる。

5 長福寺

下丸子4-18

真言宗智山派の寺院。戦後作られたご本尊の白衣観世音菩薩像は、“観音様”のイメージそのままのお姿である。玉川八十八カ所霊場第六十番札所として、多くの信仰を集める。

矢口エリア概要



矢口地域は、南北朝時代の正平13年、矢口の渡しで起きた足利氏の配下による新田義貞の子、義興謀殺にまつわる史跡が数多く残っています。また、キャンパなどの大企業をはじめ中小企業、町工場まで、大小様々な企業・工場と住宅が混在する地域です。中小企業の中には、大企業の下請けにとどまらず、機械金属工業の独自の技術や市場を持つ企業もあります。最近では、工場の移転により下丸子二丁目から下丸子四丁目の多摩川沿いで再開発が進み、跡地には大型高層マンションが林立しています。

